

入選

私にとっての水

矢吹町立矢吹中学校 三年

吉田

葵

「葵、見て。これ今月の水道代。ほとんど葵が使った水の量の金額だよ。もっと考えて水を使いなさい。」

この言葉は、毎月、母から聞かされるもの。確かに、家族の中で私が一番水道やシャワーを使っている自覚はある。そこで、私は、普段どのような場面で水を使っているのか、どうすればもう少し水道代を安くできるか考えてみることにした。

まず、日常生活の中で水を使う場面についてだ。朝起きて、まず洗面所の水道で顔を洗う。その時、私は冷たい水を温かくするため水を出しっぱなしにしている。これも母に怒られる原因の一つだ。次に歯を磨く時。学校に行って、手を洗ったり歯みがきをしたりする時。給食や体育の後に水を飲む時。帰宅して手を洗い、うがいをする時。お風呂の時。寝

る前に歯みがきをする時。日常を振り返ると、多くの場面で水を使用し、水と接している。しかし、それぞれ水を使う目的は違う。例えば、手を洗う時はせっけんを泡立てるため、泡を流すために使われる。また、うがいの時は、口の中の菌を流し、感染予防をするために使われる。それぞれの場面で、違う目的で臨機応変に使い方を変えられる水ってすごいなと思う。料理の材料になったり、飲み物の原料になったりと水は生活の中でとても重要なものだと思う。私は、そんな水をこれから先ずっと大切に使用していきたい。

次に、どうすれば水道代をもう少し安くし、母に怒られないようにするかだ。もちろん水道代を安くするために水を無駄遣いしないことが一番大切なのだと思う。しかし、冬は冷たい水で顔を洗ったり、

手を洗うのはかなりきつくはないだろうか。だから、私は、母に聞いてみた。

「ねえ、どうやったたら水を出しっぱなしにしないで、冷たい水を温かい水に出来る？」

と。そしたら、母は、

「水を出す取っ手を水出す前に赤いメモリの方に動かしてから水出せばいいでしょ。」

と言った。私は確かになと思っただ。それを次の日から実行したら明らかに水を出している時間が短くなった。お風呂に入る時には、なるべく湯船のお湯を使ったり、定期的にシャワーを止めたりなど工夫をするようになった。その工夫を、家族で共有し家族みんなで節水を心がけるようになった。家族みんなで共有して何かをするっていいなと改めて思った。来月の水道代が少しでも安くなっていると嬉しい。

このように、日常で水に接する場面が多かったり、節水について家族で考えたりなど水は生活の中で関わりが深く、これからもずっと関わっていく大切なものだと思う。そして、私は、水に関わる仕事をしている人に感謝をしたい。排水溝の掃除をする

人や水道の水にするために水をきれいにしている人。私たちはその人たちのおかげで毎日、普通に生活できていると思う。私は、自分がケガなく病気もせず楽しく生活できていることを普通と思わず、誰かを思って仕事をしている人がいるからということを忘れず、生活していきたい。また、自分が将来、仕事をする立場になった時に誰かが普通に楽しく生活できるような仕事をしたい。私が安全に生活できるように仕事をしている方々、本当にありがとうございます。私が大人になって仕事をする立場になった時、誰かの生活をサポートできる仕事をします。